

## 「九州大学法科大学院での生活」

九州大学法科大学院2年 日野 誠司



新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。「法学部」という新しい場に、希望や不安など様々な思いを胸にされていることだと思います。

さて、本稿をお借りして、私が新入生諸君に伝えたいことは、法科大学院に入学するまでの学部での過ごし方についてです。まだ、法律を学んでおられないので抽象論になってしまいますが、なんとなくでも伝わればありがたいと思います。

端的に言うなら、学部では、①焦らないこと、②学部の授業と法科大学院の授業とでは目的が違うこと、③1つ1つの科目に時間をかけることです。

①、③については文字通りです。もともと、法律を学ぶということは易しいものではありません。これから法律を学習していくと必ず分からないことが出てきます。学部では、焦らず自分の知識として習得できるよう時間をかけることが大事です。

②について。学部での授業はあくまで「学問」としての法学です。法科大学院は「実務」の場面での法学です。ただ、この学問としての法学を真剣にやることが、必ず大きな下地になります。なにより法律を学ぶこと自体を好きになることも重要です。

言葉足らずで恐縮ですが、僅かでも皆さんの充実した良い大学生活のための糧になればと思います。

## 「新入生の皆さんへ」



九州大学法科大学院3年 力丸 哲

私は、現在、弁護士を目指して九大の法科大学院に通っています。

法科大学院での生活はおおむね次のような感じです。多くの人は、朝7-9時ころから登校し、午後8-10時ころに帰宅します。勉強時間は1日平均10時間くらいだと思います。授業の予復習だけでも結構な時間がかかるので、休日を返上して登校する人も多くいます。私はこのような生活は正直ハードなものだと感じています。

しかし、一人一席24時間利用可能な学修スペース、いつでも相談に乗れるよう先生が少人数の学生を受け持つチューター制など、整った学修環境が勉強をサポートしてくれるのでそれほど苦痛に感じたことはありません。切磋琢磨しながら、勉強会を催したり、勉強方法や参考書などの情報交換をしたりできる仲間たちも心強い味方です。

法科大学院での生活は学部時代の勉強の取り組み方で大きく変わります。基礎をしっかりと押さえていないと応用問題に対応することはできません。法科大学院を目指す方は、学部の授業で学ぶことをしっかりと吸収して、できるだけ早いうちから夢の実現に向けた勉強に取り組むことをお勧めします。

## 法学部同窓会が開催されました

第35回九州大学法学部同窓会が平成21年10月16日(金)に、西鉄グランドホテルにて開催されました。

当日は、総会、最高裁判所判事・櫻井龍子氏による講演会、懇親会が行われ、300名を超える卒業生・在校生・教職員が参加し、九大法学部のより一層の団結が生まれました。

法学部同窓会の総会・懇親会は、毎年10月の第3金曜日に行われます。同窓会の皆様、是非ご参加ください。



マンドリンクラブOBによる演奏



法学部学生が司会を務めました



法学研究院の先生方



櫻井龍子判事による講演